

芸豪烈伝その5
あずまや・うらたらう
東家浦太郎

東家浦太郎よ、永遠なれ

写真・森 幸一 文・おさだ衛



あずまや・うらたらう 本名は相馬清。本郷生まれの75歳。芸術祭優秀賞受賞。紫綬褒章受章。勲等旭日小綬章受章。読売巨人軍の大ファン。趣味は将棋。芸能生活63年。浪曲界の最高峰。写真は自宅に近い駒込の六義園でくつろぐ師匠。遠くを見る目は少年のように澄んでいる。

いつの時代も流行に敏感な若い女性
は、価値が高く心がうきうきとする芸
を知っている。
老若男女、世代を越えて愛された名
人・東家浦太郎には、いまなお若い女
性ファンが多い。その声を紹介しよ
う。

『月刊 笑っていいもんかどうか』と
いう、お笑い好き高感度人間が作って
いるミニコミ紙がある。94年10月10日
号。田口咲江さんという、木馬亭の客
席にも顔を見せる若い女性が昨年9月
の「浪曲研修会」の感想を寄稿してい
る。一部、引用すると、
「一番光ってたのは東家浦太郎師匠。
(略) 『74歳浦太郎の敬老会のお時間
です』とお茶目に始めたと思ったら、
力強く絞り出された声が低く響いて来
た。こんなの初めて！ 感動で鳥肌が
立って目頭が熱くなってきた。(略)
節回しも良いけど、語りがまた格別。
『野狐三次』の子供時代の美談なんだ
けど、師匠の演じる三次少年がいじら
しくて健気。涙が出ちゃう、だって女
の子だもん!？」

笑うのも良いけど、たまには泣いて
疲労回復。涙で憂さを洗い流す……マ
ネーならぬハート・ロンドンタリング。
浪曲セラピー。師匠にはうーんと長生
きをしてもらって、たっぷり泣かせて
もらいたいなあ」

田口さんが聞いたのは「木っ端売り」
だろう。親孝行で賢い三次少年が泣か
せるんだよね。子供のあいらしさの表
現では浦太郎師が浪曲界の古今東西随
一だろう。ロンドンタリングは洗い流し
きれいにすること。セラピーは心理療
法で痛みや渴きを癒すこと。

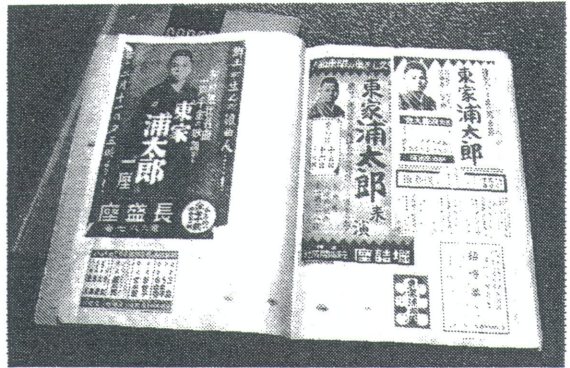
浪曲セラピー。浦太郎師の浪曲を聞



「子供の頃、ラジオの浪曲を真似したら、すぐに嗣声(どうごえ)——浪曲特有の腹の底から出す太い声)が出て我ながら驚いた。変声期はなかったよ」

くと、おおげさという失われた人間性が復活するんですね。
これだけ若い女性にほめられて、浦太郎もさぞや草葉の陰で喜んで——って殺しちゃいけない。引退するだけなんだから。
浦太郎師の引退と二代・東家浦太郎(現・太田英夫)の襲名公演が3月13日(月)に浅草公会堂で行なわれる。浪曲協会幹部も多数出演し、二葉百合子が花を添える。浪曲ファンなら『夕立勘五郎』さんばらたつの「駆けつけ」といきたいですね(15ページ参照)
木村重友か浪花亭綾太郎に弟子入りしたかったのが「心ならずも」東家楽浦に入門。ほどなく売れてすぐに大看板。「野狐三次」をひっさげて日本中を巡業、一世を風靡した経緯は『東家浦太郎 関東節ひとすじ』(月刊浪曲編集

部・刊)に詳しい。芸談と昭和9年から昭和56年までの出演日誌を収めたこの本は浪曲ファン必読だ。
この「芸豪烈伝」の取材で浦太郎師に会った。
成長した「三次少年」がそこにいた。正直、勤勉、義理がたく、日本人が本来もっている徳目を備え、開放的で生来のユーモアがある。
話す言葉は明快で、内容が豊富で含蓄が深く、示唆に富んでいる。
この取材で印象に残った言葉。
「長測剛だつて誰だつて法をまけては、いけないやね」
「私はヒロポンはやらなかった。身体に合わなかったんだね」
「かけごと、ええ、花札が好きですねえ。死ぬまでやめられませぬね」
「カンオケには花札か麻雀のバイを入れてほしいですね」
「大劇場よりも木馬亭のような寄席がお客とのふれあいがあつていい」
「むかしから、女子どもにもソバ屋の出前もちにも理解ができるように、言い方や表現には注意してきました」
「浪曲の今後? 第二の桃中軒雲右衛門いでよ、なんていうけど、もうそんな時代じゃないですよ」
「仕事で行ってないのは隠岐島と大島だけです」
「浪曲やってきて、ヤクザにかこまれたり、いやなこともあったけど楽しいことの方が多かった」



自分が出演した会のチラシやパンフレットを丁寧に保存している。浪曲研究の貴重な資料でもある。きちょうめんさとモノを大切にす誠実さ。

温かくやさしい人柄は浪曲同様、周囲の人間をリラックスさせてくれる。勝海舟が西郷隆盛を評していった「おおきな太鼓」——小さく打てば小さく響き、大きく打てば大きく響く。大人物が浦太郎師だったんです。
3度の脳梗塞を克服し、身体の動きはいくぶん不自由とはいえ高座での技量、芸のハりは衰えていない。
「東家浦太郎」は引退しても名前を変えて、この世と縁を切るまで高座を勤めてほしいなあ。
そのときの名前は「元祖・東家浦太郎」でも「東家浦太郎シニア」でも、なんでもいいんです。
智あり勇あり情けある東家浦太郎よ、永遠なれ。

浪曲... これほどすばらしい芸は他にはないと思います。
浪曲家の皆さん... 頑張ってください。
多くのファンを楽しませて下さい。
5/52
葛飾区・坂本豊吉